

FLORE21 ホットニュース

会長 小池潔のあれこれコラム

「厳しい3月、4月を乗り越え」

2月に入り食品の値上げが再び相次いでいる。食品だけでなく肉や魚、花もその中で徐々に値段が上がっている。

帝国データバンクの集計では、2月の値上げは5463品目に上がると言い、商品の入れ替えがある4月には再び値上げがきて4月時点で1万品目を突破すると言っている。

物価の鎮静化の見通しは全く立っていない。

経営体力の弱い小売店の苦境が続けば商店街の火が消える。現在でもここが、あそこかと、一つずつ消えていく商店街が少なくない。

残念ながら国は「それぞれが頑張りなさい」という姿勢です。

一方で国は「安保3文書」の中で、「反撃能力」という名で敵基地攻撃能力を保有し、そのために5年間で43兆円という空前の大軍拡に踏み出そうとしています。

私たちの国では「平生から他国を攻撃するような、攻撃的な脅威を与えるような兵器を持っていることは憲法を逸脱するところである」このことは私が生まれたときから今日まで守り続けてきた約束です。

国が導入するミサイルは「ミサイルトマホーク」など3機、中には3000キロ離れた敵基地へ打ち込める能力があるものです。

アメリカと共に戦うことも国は言っているが、アメリカも戦後いくつもの間違いをしてき。私が中学の頃、ベトナム戦争、グレナダでの侵略、リビア駁撃、など国連総会で非難決議に上がっている。決してアメリカは正義の味方でもない。

日本も正しいこと、間違っていること、どの国にもイエス・ノーを言える国になること。そして43兆円の全部とは言わないが一割程度でも、大手スーパーとコンビニだけの町にならず、商店街がもっと頑張れるように使ってもらいたいと思う。

OFLOの部屋

2月4日は（立春）です。立春は迎えましたが、まだまだ寒いですね。風邪を引かないように気を付けましょう。今回は冬の定番「球根」を調べました。

球根とは宿根草のうち、根、茎、葉などの特定の部分に養分がたまって変形・肥大化してできた**貯蔵器官**。園芸や農学分野で用いられる用語である。

◎根の分類

・鱗茎（りんけい）

タマネギのように短縮茎に葉（鱗葉）が重なり合い層状になっているもので他には、ヒガンバナ、チューリップ、ヒヤシン、ニンニク、ラッキョウなどがある。

・球茎（きゅうけい）

茎自身が肥大化して球根になったもので、葉鞘が乾燥した薄皮で包まれているもの。クロッカス、グラジオラス、フリージア、アヤメ、サトイモ、コンニャクなど

・塊茎（かいけい）

短縮した地下茎自身肥大化し球状になったもので、薄皮で包まれていないもの。シクラメン、アネモネ、ベゴニア、チョロギ、ジャガイモなど。

・根茎（こんけい）

水平方向に伸びた地下茎が肥大化したもの。ライゾームともいう。カンナ、ハス（レンコン）、ショウガなど

・塊根（かいこん）

根の部分が肥大化したもの。ダリア、サツマイモ、キャッサバなど。

・担根体（たんこんたい）

根でも茎でもない、ヤマノイモ属に特有の器官。ヤマノイモ、ナガイモなどのヤムイモ類。



スイセン (テタテタ) フラチラリア (ミハエロスキー) チューリップ (テタテ)
富山県/高岡市農協



アイリス
(キャサリンホジキン)

チューリップ (タルダ) チューリップ (ヘレネ)



アイリス (ペインテッドレディ)
とても珍しく可愛い小花です。
富山県/高岡市農協



ムスカリ (ピックスマイル)
富山県/高岡市農協



フラチラリア (メレアグリス)
富山県/高岡市農協
花びらの模様が印象的です。
個人的にはこの花が一番好きです。



プスキニア リバノティカ
富山県/高岡市農協



レッドビューティー



アイリス（ジェーエスダスト） チューリップ（レディーゼール）

今が旬な「球根」

色・形とりどりなものがたくさんあります。ぜひ、店頭に見に来てください！！

大田店 緑姫

世田谷店おすすめ

今回、初めて静岡県菊川市下内田にある

“やぎバラ育種農園さん”のハウスに入らせていただきました。

1973年に創業いたしまして現在、約3,000坪の面積で約40品種程育成、出荷しております。

国内のバラの生産農家では少ないバラの育種（品種改良）を行い、栽培品種の9割以上がオリジナル品種となっていて、他では手に入らない特別な存在の生産者さんです。



世田谷店でも少量ですが、お取り扱いさせていただいておりますが、大人気です！



ユニバール



ラロック



シュエルヴァーズ



フランベール



ヤギパープル



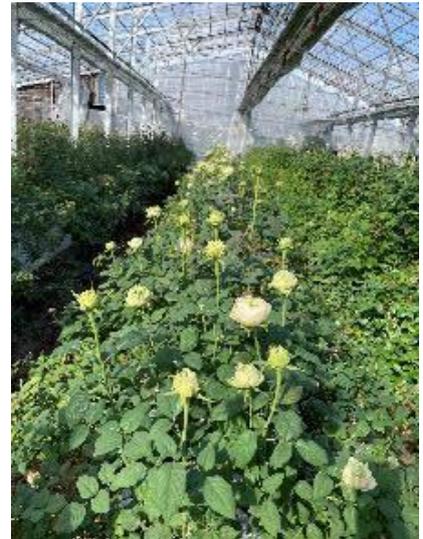
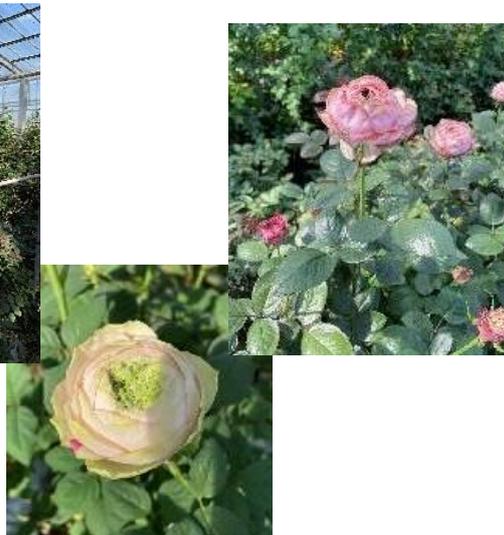
ヤギグリーン



カレン



ヴァーズ



お話をお聞きしますと、毎年約1万粒の種をまいて育成し、花卉の形、咲き方、発色、成長点、香、葉の色、水揚げ、トゲの付き方、など吟味され、2年目に100品種に絞り、3年目に30品種、最終的に残るものは4年目に2品種程度だそうです。そのあとから増産を考えますと気が遠くなります。

やぎバラ園さんオリジナルの品種バラを総称して
” Art Rose. / アールローズ” とされたそうです

仏語で『芸術のバラ』という意味です。

1本で芸術品の様な“やぎさん”のバラは驚きと感動を与えてくれます。

手間と惜しみない時間をかけて創り出されたバラはどれも個性的でヴァーズ系をはじめラロックなどこだわりのあるものばかりです。



入手は本数が限られており、困難ですがどこかで出会いましたら是非お手に取ってみてください。

世田谷店 森下

仕入れの素☆葛西店

【江戸川花藝コンテスト】

1月29日（日）に葛西市場で【青果と花のプチフェスタ】が開催されました。フェスの中の催しで【江戸川花藝コンテスト（葛西カップ）】も開催されました。

- 参加者 : 葛西市場で仕入れをおこなっている花屋さん。
上代設定 : 5,000 円
作品テーマ : フラワーバレンタイン用ギフト商品
審査方法 : フェスに来場された一般消費者さんの人気投票

今まで葛西市場でこのようなコンテストがあったのかはわかりませんが、私を知る限り初めての開催だったので、皆さんがどのような作品を作るのか楽しみでした。

作品一覧です！！ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓







今回は 48 作品が出品されました。

各々でアレンジの仕方や花束の束ね方、各お店での上代 5,000 円の感覚など様々で面白かったです。

今回の審査はフェスに来場された一般の方のみの投票でしたが、市場に来ている花屋さん目線の投票もあるととっても楽しいかなって思いました。

出品された方たちも他の花屋さんにも自分の作品を見せる機会はないと思うので、フェスやコンテストでなくても、作品展示会みたいなものが年に何回かあるとみなさんいい刺激になるんじゃないかなーって思ったり・・・

いつか【フローレ 21 杯】が開催される時がくるかも！！(笑)

葛西店 茂木

【驚き！！】の提案 板橋店

板橋店スタッフ刈谷です。1月13日、14日に、大田店の鎌田さん、松下さんと、今が旬！チューリップの一大産地、富山県に伺ってきました☆

富山県まで行って伺ったのは

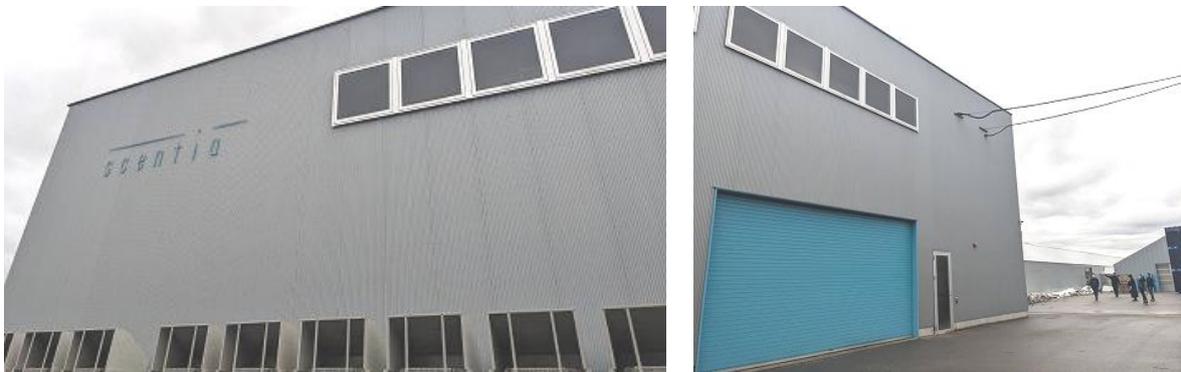
🌸高岡市農協さま、🌸(株)センティアさま

の2産地さんだったのですが、高岡市農協さまに関しては先日FLORE21の産地訪問ブログの方に掲載させていただきましたので、よかったらそちらもご覧くださいね♡

♡URL♡ <https://flore21.com/visit/>

今回ご紹介するのは、初めて伺いましたチューリップの生産者さん「(株)センティア」さん。伺った際は、社長の伊藤さんにご案内していただきました！

伺った会社の外観は、パッと見、ハウスの建った農家さん、というよりはなんだか工場のような趣。そして、その印象を裏切らない！
まさに「チューリップ工場」のような建物内をご紹介しますね！



最初にご案内していただいたのは、チューリップたちにとっては採花前の最後の圃場。

ここの建物だけでも、
「広！！」「多！！」「圧巻のチューリップ平原！！」
となったわたしです。



採花・出荷を控えたつぼみの苗たちが所せましと植えられている、しっかりとした建物でした。



ここでは、光量を抑えられた室内に、採花を待つチューリップたちがボックスで並べられ、ベルトコンベアのように順番に1枚目写真の手前側へ、手前側へと回ってきます。

そして1日1回、ボックスが人の手前に来るタイミングで、スタッフさんたちが採花できるお花を1本1本根ごと摘んで、後ろに流れるベルトコンベアへと乗せて、選花のエリアへと運ばれていくような流れになっていました。

☑️最初に選花前の最終ハウスから案内していただきましたが……
別のハウスに行ってみると、このような感じで！



手前にシャワーのような散水機が設置されており、こちらもオートマチックに整然とスクスク育っております。

別ハウスに移るごとに、だんだんと丈が出てお花が成長していていますね。

そして、成長して採花時期を迎えた段階で一番最初にご紹介した「工場」の室内に移送されていくわけです。

この時点でも、広いハウスに何棟も何棟も植えられているチューリップ、チューリップ、チューリップ！！の山を見て、圧倒されていた私ですが、センティア様の持っている球根量はこんなものでは全然なく——



見てください。

今シーズン分はまだハウスに植えられていない球根たちが、冷蔵庫丸々3 部屋を使ってこのように静かに”時”を待っております……

シーズンを通して、



植えて⇒咲いて⇒出荷したら⇒また植える

というサイクルを繰り返す、なんとも気忙しい品目なんですね。チューリップって。

🌱このような箱『ボックス』に植えて育てるため、チューリップは「ボックス栽培」といわれる栽培方法なんだそうですよん。

さて、採花されたあとの選花も、センティアさんでは徹底的に！オートマチックに管理されています。



☑このように、ベルトコンベアから運ばれてきたチューリップから、機械で球根部分を取り除き、「切り花」の状態にしたあと

☑レントゲン撮影をかけて頭の大きさ・位置を把握してサイズごとに選花作業をかけていきます。

☑見えますか…チューリップのレントゲン写真です。



レントゲンを通り抜けたあとは、10本でひと束に足元をたばね、そしてセンチアロゴ入りのスリーブへ…

バケツに入れて冷蔵庫で保管し、最終的に箱詰めして、出荷を待っております。



